令和4年度用

市出資法人
団体自己評価（自己評価シート）

団体名：有限会社新堂駅管理商会

所管部課名：企画振興部交通政策課

団　体　名	有限会社新堂駅管理商会　　[企業会計用]

【経営基本情報】

○団体の基本情報

所　在　地	三重県伊賀市新堂318番地				
ＨＰアドレス					
電話番号	0595-45-3021	ＦＡＸ番号	0595-45-3021		
代表者	代表取締役　中島　正博	設立年月日	昭和59年3月15日		
市所管部等	企画振興部交通政策課	市出資額	1,400 千円	市出資割合	46.67 %
団体の目的	新堂駅の維持管理と地域の発展に寄与する。				

○主な事業内容

[事業規模]　　（単位：千円）

事業名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
(1)	駅業務、駐車場業務	3,435	3,439	3,541	管理委託料（駅・駐車場）
	全事業合計に占める割合	83.19%	83.23%	82.42%	
(2)	南口公園及びトイレ清掃	694	693	51	清掃委託料
	全事業合計に占める割合	16.81%	16.77%	1.19%	
(3)	DMG新堂駅前開発プロジェクト	0	0	704	清掃委託料
	全事業合計に占める割合	0.00%	0.00%	16.39%	
(4)					
	全事業合計に占める割合	0.00%	0.00%	0.00%	
	全事業合計	4,129	4,132	4,296	

[事業の概要]

(1) JR西日本駅支援課と伊賀市の委託契約に基づき、乗車券・定期券の販売及び新堂駅構内の清掃を行う。新堂駅駐車場の運営管理を行う。

(2) 伊賀市より委託を受け、新堂駅南口公園及びトイレの清掃業務を行う。

(3) DMG森精機㈱より委託を受け、令和4年5月から(2)の事業を引き継ぎ行う。

(4)

○財務概況　　（単位：千円）

				令和2年度	令和3年度	令和4年度
正味財産増減計算書	売上高 (a)			4,129	4,132	4,296
	売上原価 (b)			0	0	0
	販売費・一般管理費 (c)			3,625	3,845	3,795
	営業損益 (d)＝(a)－(b)－(c)			504	287	501
	経常損益(営業損益＋営業外収益－営業外費用)			506	289	503
	当期純損益(経常損益＋特別利益－特別損失－法人税等)			506	289	454
貸借対照表	資産			3,729	3,990	4,467
		負債 (e)		156	128	150
			資本金(基本金) (f)	3,000	3,000	3,000
			剰余金(累積欠損金)等 (g)	573	862	1,317
		純資産 (h)＝(f)＋(g)		3,573	3,862	4,317
	負債・純資産合計 (i)＝(e)＋(h)			3,729	3,990	4,467

団体名	有限会社新堂駅管理商会	[企業会計用]

○財務に関する主な指標

	指　　標	計　　算　　式	令和2年度	令和3年度	令和4年度
安定性	自己資本比率	純資産／(負債＋純資産)	95.82 %	96.79 %	96.64 %
	流動比率	流動資産／流動負債	2,390.38 %	3,117.18 %	2,978.00 %
	借入金依存率	借入金残高／(負債＋純資産)	0.00 %	0.00 %	0.00 %
収益性	売上高営業利益率	営業利益／売上高	12.21 %	6.94 %	11.66 %
	総資産経常利益率	経常利益／資産合計	13.57 %	7.24 %	11.26 %
効率性	人件費比率	人件費／売上高	71.74 %	72.60 %	69.15 %
	管理費比率	販売費・一般管理費／売上高	87.79 %	93.05 %	88.33 %

○役職員の状況　　(※派遣職員は含まない)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備　　考
常勤役員		2 人	2 人	1 人	R4平均年齢: 歳
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R4平均年収: 千円
常勤正規職員		0 人	1 人	1 人	R4平均年齢: 歳
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R4平均年収: 千円
その他職員		1 人	0 人	2 人	
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	

○市からの財政的支援など　　(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料	4,129	4,132	3,592
補助金・助成金	0	0	0
負担金	0	0	0
借入金(期中に借り入れた額の合計)	0	0	0
その他市支出金(追加出資額等)	0	0	0
計	4,129	4,132	3,592
借入金残高(期末残高)	0	0	0
債務保証額(期末残高)	0	0	0
損失補償限度額	0	0	0
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)	0	0	0

○団体の目標達成状況等

●中・長期経営計画の策定の有無

有	□	計画期間		策定予定時期	
無	■				

●中・長期経営計画による目標及びその達成状況

目　標	
実　績	

●年次事業計画による達成目標

令和4年度 目標	駅利用者の利便性を図り、駅業務などのサービス提供を維持する。
令和4年度 実績	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対策を講じながら、通常の業務を維持することができた。
令和5年度 目標	鉄道及び駐車場利用者のニーズに応じたサービスの提供を図る。

団　体　名	有限会社新堂駅管理商会

団体自己評価結果

A（90%～100%）：良好な事象や傾向がみられる
B（60%～89%）：やや良好な事象や傾向がみられる
C（30%～59%）：改善を要する
D（0%～29%）：大いに改善を要する

	比　率	評　価
目　的	83 %	B
事　業	78 %	B
経営計画	48 %	C
経営状況	78 %	B

団体自己評価表

1．目的に対する評価

		比率	83 %	評価	B	回 答 欄
1	団体の目的は現在でも社会的要請があるか					①
2	民間企業等が事業の実施主体となることは不可能か					②
3	市との役割分担を踏まえ、団体で実施するメリットがあるか					①
4	事業内容は目的に対し意義・効果が認め られるか					②
5	団体が設定している目標は、目的や行政目的の達成に寄与する指標となっているか					①
6	社会経済状況に応じ経営改善に取り組んでいるか					①
7	市民に対し情報公開・情報提供しているか					②

2．事業に対する評価

		比率	78 %	評価	B	回 答 欄
1	団体の事業全体について、成果は十分に上がっているか					②
2	事業毎に目標を設定しているか					②
3	目標の達成状況を評価・活用しているか					②
4	顧客ニーズ及び顧客満足度を把握しているか					①
5	顧客からの問い合わせ、意見等への対応は適切か					①
6	内部統制は十分に実施されているか					①
7	危機管理体制は十分に整備されているか					②
8	組織体制は十分に整備されているか					①
9	管理費比率及び人件費比率は適正か					②

3．経営計画に対する評価

		比率	48 %	評価	C	回 答 欄
1	経営基本方針等を定め、役員・職員に浸透しているか					①
2	中長期経営計画を策定し、運用しているか					④
3	外部環境、経営資源を把握、評価し、中長期経営計画に盛り込んでいるか					④
4	中長期経営計画と実績との差異を分析し、計画を見直しているか					④
5	年次事業計画と実績との差異を分析し、改善しているか					①
6	中長期経営計画、年次事業計画は市の方針を反映したものとなってしているか					③
7	計画目標達成のため、人材育成・能力開発を行っているか					①
8	計画の実施にあたり、進捗管理の体制が十分に整備されているか					②

4．経営状況に対する評価

		比率	78 %	評価	B	回 答 欄
1	収支の状況は健全であるか					①
2	累積欠損金が発生していないか、債務超過ではないか					①
3	財務基盤についての指標は適正か					②
4	収益における市への依存度は適正か					②
5	総資産当期経常増減率は適正か					①
6	開発用不動産等及び有価証券等の含み損益を把握しているか□					①
7	債権管理は十分か					①
8	借入金は返済可能か					①
9	基本財産や運用財産を適正に運用しているか					②
10	必要な額の特定資産（引当金）が設定されているか					④

※ 回答　①＝5点　②＝3点　③＝1点　④＝0点とし各部門ごとに比率を算出しています。
比率＝（合計点）／（総回答数×5点）×100

団　体　名	有限会社新堂駅管理商会

《団体自己評価コメント》

目　的	本来の目的に沿って行っている。
事　業	地域住民の利便性および利用者のニーズに応じたサービスの提供が出来ている。
経営計画	中・長期経営計画を策定していないが、事業計画に基づいた経営を行っている。
経営状況	経費節減により、単年度黒字を確保しているが、今後、DMG森精機㈱との委託契約が継続できるか不透明である。
総括コメント	JR並びに市の方針に従い、利用者の利便性とサービスの向上を図り、地域の発展に寄与している。

【市の審査及び評価結果】

空白：団体自己評価結果と概ね同じ評価
＋：団体自己評価結果に比べて高く評価（良好な点が認められる）
－：団体自己評価結果に比べて低く評価（課題が認められる）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度コメント
目　的	団体自己評価	B	B	B	目的に沿った経営を行っている。
	市の評価				
事　業	団体自己評価	B	B	B	地域の利便性確保に寄与出来ている。
	市の評価				
経営計画	団体自己評価	B	C	C	中・長期経営計画を策定していないが、サービス提供継続のため事業計画に基づき経営している。
	市の評価				
経営状況	団体自己評価	B	B	B	単年度黒字であり経営状況は安定している。
	市の評価				

《市の総括コメント》

当団体は、JR新堂駅の有人化のため鉄道OBの地元有志により設立されたものであり、専門性を要する乗車券発売等の駅サービス業務・駐車場管理・付属施設管理を集約的に行うことで、安価で効率的なサービス提供を実現している。駅利用者の利便性維持のため、職員の確保等に取り組み、今後も安定した経営を継続いただきたい。